

## 「情報システムの設備ガイド」セミナーアンケート回答

〈2014年12月18日 東京, 2015年1月29日 京都, 2015年2月26日 博多〉

Q1. 説明会に関するご要望・ご意見等ありましたら、下記に自由にご記入ください。

A1.

No.	ご要望・ご意見・ご質問	回答・コメント
[1]	初めて参加させてもらいました。参考になりました。ありがとうございました。	ご出席ありがとうございます。当設備ガイドをご活用ください。
[2]	「情報システムの設備環境基準」として設備新設の為のガイドブックとして非常に参考となる内容でした。様々なリスクに対する計画が分かり易く説明されています。今後の希望として、今日インドア/アウトドア様々な電算センターが全国に有りますが、現状の稼働設備（代表的なもの）と今後の傾向について、記述が欲しいと思います。特に効率・経済的観点から「屋外コンテナ」が多く完成していると思われ、設置計画も多様化傾向に有ると考えられます。有難うございました。	ご意見ありがとうございます。当設備ガイドをご活用ください。稼働設備と今後の傾向については、ガイド記載をご容赦ください。ご意見につきましては、今後考慮した改正を検討させていただきます。屋外コンテナの記述については、今後の改正にて検討させていただきます。
[3]	サーバ室における情報システム用ノイズ対策としてのアース設備（アースシステムの設計手法、機器レイアウトとアースの布設方法、施工方法など）についてのセミナーがあれば参加したいと思います。	ご意見ありがとうございます。セミナー開催につきましては、ITR-1005改正時に検討させていただきます。
[4]	とてもわかりやすい説明でした。内容が多いので、もっと時間をかけても良いかと思えます。	ご意見ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。
[5]	1～2章の説明は、速すぎてついていけませんでしたが。3章以降は、改訂箇所が整理されており、分かりやすかったです。	ご意見ありがとうございます。また一部のペース配分につきましては、申し訳御座いませんでした。ご意見は、今後のセミナーにて反映させていただきます。
[6]	駆け足での説明が多かったので、もう少し時間が長くて良いと思いました。	ご意見ありがとうございます。内容と時間配分についてのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
[7]	今回初めて説明会に参加させていただきました。各テーマの改訂、変更事項を詳しく説明いただき、様々な事項を改めて確認致しました。弱干、内容の割に時間が不足した感は否めませんので、今後ご検討頂ければと存じます。	ご意見ありがとうございます。内容と時間配分についてのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
[8]	情報システム等の情報設備（インフラ）に対する事業継続計画（BCP）の策定の説明内容（BCP関連）をもう少し詳しく、（時間を増やして）聞きたかった。	ご意見ありがとうございます。内容と時間配分についてのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
[9]	情報システム設備の環境条件の具体的な事例について大変参考になりました。	ご意見ありがとうございます。当設備ガイドをご活用ください。
[10]	限られた時間内で改訂事項を全て確認することは困難であった。説明資料(ppt)を何らかの形で共有していただくと良いと感じました。	ご意見ありがとうございます。説明資料の提供は、ご容赦ください。ご意見は今後のセミナーでの参考にさせていただきます。
[11]	・具体例や参考図をもう少し記載して頂けるとありがたいです。文章だけだと分かりづらいいところもありました。 ・図面で文字が潰れていて読めないところがあったので、修正して頂けるとありがたいです。	ご意見ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。ご指摘につきましては、反映させていただきます。
[12]	1、改訂一覧表をUP願いたい。 2、設備制御機器及びその監視ネットワークに関する技術（ex. プロトコル、セキュア etc）ガイドの記述が不足していると感じます。	ご意見ありがとうございます。説明資料の提供は、ご容赦ください。ご意見は、今後の改正で参考にさせていただきます。
[13]	本日は、ありがとうございます。	ご出席ありがとうございます。
[14]	各章ごとの留意点、重要事項など、時間的な制約はありましたが、参考になりました。	ご意見ありがとうございます。当設備ガイドをご活用ください。
[15]	追記・修正点をまとめた用紙があれば、C版との比較がしやすかったです。	ご意見ありがとうございます。変更概要は、JEITAホームページにて開示いたします。
[16]	変更点・更新内容が分かる資料があれば付けてほしいです。	ご意見ありがとうございます。変更概要は、JEITAホームページにて開示いたします。
[17]	本日説明していただいたプレゼン資料はいただけないでしょうか？	ご意見ありがとうございます。説明資料の提供は、ご容赦ください。ご意見は今後のセミナーでの参考にさせていただきます。
[18]	・改訂点の一覧があると助かります。 ・今回のPPTがあると助かります。	ご意見ありがとうございます。変更概要は、JEITAホームページにて開示いたします。説明資料の提供は、ご容赦ください。ご意見は今後のセミナーでの参考にさせていただきます。
[19]	資料希望	ご意見ありがとうございます。説明資料の提供は、ご容赦ください。ご意見は今後のセミナーでの参考にさせていただきます。
[20]	設備ガイドの全体の説明会も開催していただきたいです。	ご意見ありがとうございます。ご要望につきましては、今後の活動の参考にさせていただきます。
[21]	今後、免震装置の設備ガイドへの詳細なる記載を期待しております。宜しくお願いします。	ご意見ありがとうございます。改正時の参考にさせていただきます。
[22]	LANケーブルに係わるノイズに関する情報を共有していきたいです。現在JEITA情報配線システム標準化専門委員会 ツイストペア情報配線システム標準化Gに参加しております。	ご提案いただきありがとうございます。改めて情報共有を図らせて頂きますようお願い申し上げます。
[23]	もう少しテーマを絞って、重要部分の説明をしてほしかった。本日の内容ではガイドと変更一覧があれば足ります。	ご意見ありがとうございます。内容と時間配分についてのご意見は、今後の参考にさせていただきます。

[24]	説明に使われた説明資料がわかりやすく、欲しいと思いましたが、提供、公開頂くことは可能でしょうか？	ご意見ありがとうございます。 説明資料の提供は、ご容赦ください。 ご意見は今後のセミナーでの参考にさせていただきます。
[25]	1. 資料に無いパワーポイントが大変重要であり、補足でいただきたいと思いました。	ご意見ありがとうございます。 説明資料の提供は、ご容赦ください。 ご意見は今後のセミナーでの参考にさせていただきます。
[26]	配布設備ガイドとプレゼン資料で内容の差異が見られるがプレゼン資料等もHPで公開してほしい。	ご意見ありがとうございます。 説明資料の提供は、ご容赦ください。 ご意見は今後のセミナーでの参考にさせていただきます。
[27]	プレゼン資料も見たい、webに載せて欲しい。	ご意見ありがとうございます。 説明資料の提供は、ご容赦ください。 ご意見は今後のセミナーでの参考にさせていただきます。
[28]	パネル表示された資料も参考資料でいただけると良いと思いました。接地線の説明資料が参考となりました。	ご意見ありがとうございます。 説明資料の提供は、ご容赦ください。 ご意見は今後のセミナーでの参考にさせていただきます。
[28]	説明会ありがとうございました。	ご出席ありがとうございます。
[29]	簡易免震プレートが推奨外になった情報は、ありがたい情報でした。	ご意見ありがとうございます。当設備ガイドをご活用ください。
[30]	説明に使用された資料を入手したいです。	ご意見ありがとうございます。 説明資料の提供は、ご容赦ください。 ご意見は今後のセミナーでの参考にさせていただきます。
[31]	初めての参加、勉強となりました。今後の活動に役立ちます。ありがとうございました。	ご出席ありがとうございます。当設備ガイドをご活用ください。
[32]	説明会で使用されていた具体的事例や具体的数値、改正の背景等の資料も補足用として、あればより有難いかなと思いました。(ところどころは参考文献として規格名やURLの記載はありましたが・・・)	ご意見ありがとうございます。 今後の改正での参考にさせていただきます。
[33]	わかりやすく内容の確認が出来ました。	ご意見ありがとうございます。
[34]	初めての参加でしたが変更点がよくわかりました。	ご意見ありがとうございます。
[35]	改正された点について説明・補足されたので、聞いていて分かりやすかった。具体例を出しながら説明をして頂いたので、その資料もほしいと思いました。	ご意見ありがとうございます。 説明資料の提供は、ご容赦ください。 ご意見は今後のセミナーでの参考にさせていただきます。
[36]	有意義なセミナーでした。主催/開催して頂いた、関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。	参加していただきありがとうございます。 関係者への労いに御礼申し上げます。
[37]	設備の基本方針、仕様、考え方が参考になりました。今後の仕事に活かしていきたいと思えます。	ご意見ありがとうございます。当設備ガイドをご活用ください。
[38]	セミナーの内容は充実しており、今後の活動に大変役に立ちます。それぞれの章の説明時間をもう少し長くした方が良いのではと感じました。	ご意見ありがとうございます。 内容と時間配分についてのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
[39]	駆け足的な内容説明だったので、2つぐらいに絞り込んだセミナーだと良かったかもしれない。	ご意見ありがとうございます。 内容と時間配分についてのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
[40]	もし可能でしたら、スクリーンに映す資料を事前にいただければ幸いです。また資料はいただけないでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 説明資料の提供は、ご容赦ください。 ご意見は今後のセミナーでの参考にさせていただきます。
[41]	一部、説明が専門すぎる部分があったが、今後役立てていこうと思う。	ご意見ありがとうございます。 今後のセミナーでの参考にさせていただきます。 当設備ガイドをご活用ください。
[42]	引き続き、情報システム設備の設計バイブルとして活用していきたい。簡易免震装置に関し、メーカー・製品により大きく性能差があると感じる。委員会として推奨しないではなく有用な物となるよう検討をお願いしたい。	ご意見ありがとうございます。 今回の簡易免震装置に対する記載は、運用側の期待と実態の一部が乖離していることに対する警告に止まりました。 有用とみる範囲等につきましては、今後検討させていただきます。
[43]	定期的に開催して頂ければと思います。	ご意見ありがとうございます。現在は、定期的な開催を予定しておりません。 今後の活動の参考にさせていただきます。
[44]	プロジェクターで表示され、テキストに記載のない部分は、参考資料として配布していただきたい。 講習内で、新しい知識も習得でき、大変勉強になりました。	ご意見ありがとうございます。 説明資料の提供は、ご容赦ください。 ご意見は今後のセミナーでの参考にさせていただきます。
[45]	説明会で使用されている資料(説明用)を提供していただきたい。	ご意見ありがとうございます。 説明資料の提供は、ご容赦ください。 ご意見は今後のセミナーでの参考にさせていただきます。
[46]	実際にあった地震の写真による影響、被害状況が見られて良かったと思います。九州地区はあまり地震がなく被害状況は見たことがありません。参考になりました。	ご意見ありがとうございます。 ご意見は今後のセミナーでの参考にさせていただきます。
[47]	今回の改正に対して手配(見本)になったDCはありますか？	独立行政法人理化学研究所 計算科学研究機構様など一部のデータセンタを見学しました。また、東日本大震災の被害事例などを参考にしております。
[48]	環境及び、各種設備の構築に関する最新の技術などについての紹介を要望したい。具体的な施工例などがあれば、有意義だと思われま	ご意見ありがとうございます。 今後の改正及び、セミナーへの参考にさせていただきます。
[49]	情報システムに関わっている者にとって特に設備は重要であり、提案していく上での指標にしていきたいと考えます。	ご意見ありがとうございます。当設備ガイドをご活用ください。
[50]	半日のセミナーでしたが、項目からすると短いと思えます。一日の量での説明が必要と思えます。	ご意見ありがとうございます。 内容と時間配分についてのご意見は、今後の参考にさせていただきます。
[51]	全般的に事例の図を割譲して欲しい。	ご意見ありがとうございます。 ご意見は今後のセミナーでの参考にさせていただきます。
[52]	セミナーの説明するときにプロジェクターに表示させていた資料はいただけないですか？	ご意見ありがとうございます。 説明資料の提供は、ご容赦ください。 ご意見は今後のセミナーでの参考にさせていただきます。

ガイドラインについて

Q2. 各章で確認したい内容・ご意見等ありましたら、下記に自由にご記入ください。

A2.

No.	該当の章	ご質問内容	ご質問への回答
[1]	I・II章	I章・II章については項目毎になるべく多くの凡例図を載せて欲しいと思います。ただ項目が多いので掲載できる数は、制限されるものと思いますが。	ご意見ありがとうございます。今後の改正に際して参考にさせていただきます。
[2]	II-7	LANケーブルのシールドを使用する場合の適正な接続図を記載してほしいです。	ご意見ありがとうございます。今後の改正に際して参考にさせていただきます。JIS X5150においては、ポイントツーポイントで低インピーダンス接地を行います。また情報システム機器・HUB・ラック等も同質の低インピーダンス接地を行います。JEITA 情報配線システム標準化委員会にも、お問合せください。
[3]	II-15	シールドケーブルについて具体的な施行例・留意事項を記載して欲しいです。(2点アースにならないよう考慮とか)	ご意見ありがとうございます。No. [2] II-7の回答をご参考になさってください。また、2014年4月18日に BICSI様主催の下記セミナーがありました。 「Category6A～Caregory8 最新メタル配線技術動向」 講師：タイコエレクトロニクスジャパン合同会社 安齋 宏之氏 このセミナーにて2点アースに関して回答があり、実験結果が報告されています。結果として、2点アースとしても接地ループの心配はありません。シールドケーブルを使用しない場合、ANEXT・EMIバックグラウンドノイズの影響を受けますので、シールドケーブルの使用をお勧めします。アースに関しては、低インピーダンス接地をしてください。静電接地等も必要です。
[4]	II章	BCP対策の中で隕石の落下や、飛行機の墜落に対する具体的な対策が知りたい。	ご意見ありがとうございます。特定範囲に対する壊滅的な被害に対しては、バックアップシステムによる情報システムの運用継続が有効です。記載については、今後の改正に際して参考にさせていただきます。
[5]	III-1	天井の振れ止めに関して Before Afterの比較図があると解りやすいのではないかと。	ご意見ありがとうございます。今後の改正に際して参考にさせていただきます。なお天井の脱落防止措置については、関係法令に関する以下をご参照ください。 ○ 建築基準法施行令の一部を改正する政令について - 国土交通省 <a href="http://www.mlit.go.jp/report/press/house05_hh_000414.html">http://www.mlit.go.jp/report/press/house05_hh_000414.html</a> ○ 建築基準法の天井脱落に係る規定 - 国土交通省 <a href="http://www.mlit.go.jp/common/001009501.pdf">http://www.mlit.go.jp/common/001009501.pdf</a>
[6]	III-1	建築基準法の改定により、準拠した内容について図示した(天井補強、ホールや6m以上の天井に対し落下防止の対策)対策(部材など)の表示を希望します。(フリーアクセスに関する図は非常にわかりやすい)又、改定前の天井に施す、対策例などを知りたい	ご意見ありがとうございます。今後の改正に際して参考にさせていただきます。なお天井の脱落防止措置については、関係法令に関する以下をご参照ください。 ○ 建築基準法施行令の一部を改正する政令について - 国土交通省 <a href="http://www.mlit.go.jp/report/press/house05_hh_000414.html">http://www.mlit.go.jp/report/press/house05_hh_000414.html</a> ○ 天井の脱落防止措置に関する政令及び省令並びに告示の制定・一部改正案について <a href="http://www.mlit.go.jp/common/000995308.pdf">http://www.mlit.go.jp/common/000995308.pdf</a> ○ 建築基準法の天井脱落に係る規定 - 国土交通省 <a href="http://www.mlit.go.jp/common/001009501.pdf">http://www.mlit.go.jp/common/001009501.pdf</a>
[7]	III-2	簡易免震装置は、架台耐震固定機器を固定金具等で固定すれば推奨しても良いのでしょうか。	簡易免震装置の下側を固定する事は下部装置の移動、浮き上がりに対しての効果があります。簡易免震装置を導入する場合には、簡易免震装置の振幅が稼働範囲を超えた場合に転倒しない処理を実施するとともに、周期の長い地震波に対する簡易免震装置の特性や性能を考慮し、コンピュータメカ、施工会社と協議し、お客様の責任で採用してください。
[8]	III-2	簡易免震装置は現在中小規模のマシン室では主流となっています。設置できる条件・前提条件を示す記載やNGな条件を記載することはできないでしょうか？他のJEITA基準(IT-1004A)の簡易免震装置記載に変更有りますか。	ご意見ありがとうございます。今後の改正に際して参考にさせていただきます。IT-1004Aは、2011年3月11日の東日本大震災 発生前に改正しております。また、IT-1004Aは「産業用情報処理・制御機器設置環境基準」であり、情報システムにおいては、下記の記述を優先してください。 ・ IT-1002A 「情報システムの設備環境基準」 ・ ITR-1001D 「情報システムの設備ガイド」(東日本大震災 発生後の改正) なお、IT-1004Aの簡易免震装置の記述は、改正を視野に検討させていただきます。
[9]	III-2	3 留意事項(8)どのような落下防止枠をガイドすればよいか、具体例はありますか？	落下防止枠は、機器のキャスターが乗り越えない高さ及び、強度が必要です。施工上は分割可能なタイプをおすすめします。(後施工が可能、ケーブルを外す必要が無い) しかし、情報システム機器の地震対策としては、可能な限り、移動・転倒を防止するスラブ固定をおすすめします。
[10]	III-2	落下防止枠は特に高さなどの規定はないのでしょうか？通常メーカーに確認すればサイズは色々あるものなのでしょうか？	落下防止枠は、機器のキャスターが乗り越えない高さ及び、強度が必要です。但し、落下防止枠はラック下のフリーアクセス開口部に設置するものなので落下防止枠の高さが高過ぎればラックと干渉する、もしくは収まらなくなりますのでご注意ください。開口サイズについては、調整出来るタイプも存在します。詳しくは、メーカーの設備担当者へご相談ください。
[11]	III-2	簡易免震の装置が具体的に4階以上は設置しないは参考になりました。以前から、装置の上にラックをワイヤーで止めるだけの施工で良いとなっていますが、限度以上の時に転倒が多発する事の事例が良かったです。	ご意見ありがとうございます。セミナーでの紹介事例をご参考として設備構築をお願いします。
[12]	III-2 3. (6)	一部の簡易免震装置がNGで、TCR免震装置はOKでは？(低層階の場合)	現時点では、全ての簡易免震装置について同等に推奨しないものとしております。簡易免震装置を導入する場合には、簡易免震装置の振幅が稼働範囲を超えた場合に転倒しない処理を実施するとともに、周期の長い地震波に対する簡易免震装置の特性や性能を考慮し、コンピュータメカ、施工会社と協議し、お客様の責任で採用してください。
[13]	III-8	デッキプレートの施工では一般的に防水性能が確保できないのですが、デッキプレートでIII-8の要求を満足する(後打ちアンカー等)施工方法を例示してください。	ご意見ありがとうございます。例示につきましては、今後の改正の参考にさせていただきます。なお、デッキプレートの施工では、後打ちアンカーは原則禁止です。専用金具を使用してください。

[14]	III-8	直上階の床をデッキプレートで施工した場合には、防水施工をすることは必須でないと考えてよろしいでしょうか？	ご意見ありがとうございます。 デッキプレート施工した場合も、防水施工を推奨しております。
[15]	III-16	避難経路に関する通路幅の規定は表示しないのでしょうか？	ご意見ありがとうございます。 ご意見は、今後の改正に際して参考にさせていただきます。 なお、コンピュータ室内の通路幅は、機器搬出入通路及び、避難通路を兼ねて1.6m以上の確保を推奨しております。
[16]	III-26	過去に電気亜鉛メッキを使用し導入して現在も運用中のマシン室に関しては、入れ替えをお客様に推奨した方が良いのでしょうか。	ウイスカ発生の潜在要因並びに影響については、お客様へご説明ください。 その上で、可能な範囲にて改修をご提案ください。（エアフローが天井経由の場合は、該当天井裏を含み入れ替え対象としてください）
[17]	III-26	ウイスカ対策済みの電気亜鉛メッキがあるとの事ですが、具体例が知りたいです。また、ウイスカ対策製品であることを、評価・認定する機関がありましたらご教示ください。	当方で確認できている電気亜鉛メッキの具体的メーカーは、(株)サンビックス様で、特許権を取得されています。 評価に関する第3者認定機関は、確認できておりません。促進試験は、(株)サンビックス様にて対応していただけることを確認しております。
[18]	III-26	フリーアクセス部材はウイスカ対策品が一般的ですが、軽量鉄骨等についての部材選定について具体例を示して欲しいです。(SUS採用若しくは、塗装するなど)	ご意見ありがとうございます。改正時の参考にさせていただきます。 なお、セミナーにて説明した内容は以下の通りです。 ・ 薄い鋼板 (3mm未満) → 溶融亜鉛メッキ鋼板採用 ・ 細かい凸凹やネジ穴なし → 溶融亜鉛メッキ採用 ・ 細かい凸凹やネジ穴あり → ウイスカ対策済み電気亜鉛メッキ採用(安価) ・ 鋼材必須ではない → ステンレス採用(高価、加工性難あり) ・ 鋼材必須ではない、軽量性を重視 → アルミ合金採用(高価、強度難あり)  また以下もご参考としてください。 ○ウイスカにご注意ください【JEITAホームページより】 <a href="http://it.jeita.or.jp/infosys/info/whisker/020115.html">http://it.jeita.or.jp/infosys/info/whisker/020115.html</a>
[19]	III-27	前室を設けた場合の留意事項として、「ドアが同時に開かない以外の注意点(情報システム及びデータ保護や災害時の避難を考慮した)がありましたら、ご教示願います。加え、供連れ防止センサーの必要性の考えについて、ご教示ください。	前室も、コンピュータ室と同様にパニックオープン、供連れ防止等の設備の対応が必要です。
[20]	III-29	「常時利用する出入口は入退室管理を行い扉には鍵を取り付ける。」との表記がありますが、常時利用しない搬入口や非常口については、情報システム及びデータを保護する目的から、やはり同レベルの処置は必要でしょうか。具体的な対策例などがありましたらご教示願います。また、機械により入退を記録する機能としては、サムターンによる退室や、マスターキーによる入室時についても記録する必要性はありまじょうか。	搬入口や非常口で同レベルの処置が難しい場合は、防犯カメラ等による監視を行うことが望ましいと考えます。 また、入退室管理の趣旨からサムターンによる退室、マスターキーによる入室を含めて記録するか、人物特定できる仕組みとする必要があります。
[21]	III-33	ASHRAE2008運用基準としている比率。→どれ位のDCで基準とされているのか。	当委員会では、データセンタ全体での運用適用状況は、把握しておりません。 一部のデータセンタでは、実用運用中であることを確認しております。 運用に際しては、情報システムの設置環境条件との整合が必要なため、情報システムメーカーにもご相談ください。
[22]	III	フリーアクセスパネルにガタ有りや、1枚パネルを抜く事で床の耐震強度に影響はありますでしょうか？	フリーアクセスパネルを1枚抜いたままにすることは、地震の水平力によりパネルが抜かれた部分を中心に床が崩壊し、床全体の強度へ影響を与える可能性があります。 対策のひとつとしては、パネルの枠等（口の字の枠・落下防止枠全面）にて補強をご検討ください。
[23]	IV-2	SPDを取り付ける際の留意事項を追記願います(長さ等)	ご意見ありがとうございます。今後の改正に際して参考にさせていただきます。 SPDへの接続ケーブルは、保護対象機器の電源側、接地側ともできるだけ最短（合計接続リード線長が0.5m以下が望ましい。）になるよう接続してください。
[24]	IV-7	「電磁遮へいの措置を講じる」この節がなくなった理由を教えてください。	ご意見ありがとうございます。今後の改正に際して参考にさせていただきます。
[25]	IV-8	電源の冗長化を取入れすぎて、複雑になり、電源障害の切り分けが難しくなるケースがあります。一定の限度は設定しないでしょうか？	電源の冗長化における電源障害切り分けについて、①冗長電源装置、②電源系統に分けて、お答えします。 ① 冗長電源装置（冗長UPS、冗長直流電源装置） 冗長電源装置は、冗長システムを構成する電源ユニットに故障が発生した場合には通常、当該電源ユニットを切り離し、かつ障害ユニットを指摘する手段を備えています。よって、上記の設計考慮を備えた冗長電源装置では、電源障害の切り分けが難しくなるケースはないものと考えています。 ② 電源系統（受電回線、電源経路、自家発電機） 例えば電源系統ごとに電圧監視装置を設置し、監視結果を中央監視装置に集約して統合監視することにより、電源障害の切り分けが難しくなるケースはないものと考えています。 <当委員会としての考え> よって当委員会では、電源冗長化の限度は特に設定する計画はございません。
[26]	IV-12	情報システム用アース設備の具体例（機器レイアウトとアース布設状況やフロア支柱アース等）な実例等があればご教示ください。	ご意見ありがとうございます。 今回ご提供できる実例はございません。 ご意見は今後の改正に際しての参考にさせていただきます。
[27]	V-11	3(7)空調器の容量の余裕度20%以上となっていますが、どこまで小さくできるでしょうか。例えば、アイルキャッピング等をした場合は、もう少し小さくできないでしょうか。	空調設備設計に際しては、情報システム機器と空調設備の熱量、風量、設置場所等の諸条件について考慮が必要となります。空調設備容量の限界値は、情報システム機器メーカー、空調設備メーカーへご相談の上、設計を実施願います。

[28]	V-12	3(1)4 アイルキャップに関して、もう少し深く説明いただきたかったです。具体的にどうすればよいのか分かりませんでした。	ご意見ありがとうございます。今後の改正に際して参考とさせていただきます。 コールドアイルキャップの例での注意点として、ラック架列間にアイルキャップを行います。ラック架列の情報システム機器の風量が架列のどちらかに偏ってしまうと、風量の少ない架列で排熱がホットアイルからコールドアイルに逆流する問題が生じます。 また、空調機の風量が情報システム機器の風量よりも少ないと、アイルキャップ内が窒息状態となり、排熱が一部還流することで、コールドアイルの温度が上がってしまうこともありますので、コールドアイルキャップを検討される場合は、風量設計に留意が必要です。
[29]	V-13	ネットワーク機器のラック実装例があり良かったです。 (サイドパネル取付/上部ファン)	ご意見ありがとうございます。当ガイドをご活用ください。
[30]	VI-2	具体的な対策として免震設備が記載されているが、留意事項では、簡易免震装置は推奨しないとあります。どういったことを検討すれば簡易免震を導入できるか具体的な見解が欲しいです。	簡易免震装置とは、ラック等機器と床面の間に設置し、ラック等機器単体を免震する装置です。簡易免震装置を導入する場合には、簡易免震装置の振幅が稼働範囲を超えた場合に転倒しない処理を実施するとともに、周期の長い地震波に対する簡易免震装置の特性や性能を考慮し、コンピュータメーカ、施工会社と協議し、お客様の責任で採用してください。
[31]	全般	全般的に事例の図を割上して欲しい。	ご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。
[32]	全般	セミナーの説明するときにプロジェクターに表示させていた資料はいただけないですか？	ご意見ありがとうございます。 説明資料の提供は、ご容赦ください。 ご意見は今後のセミナーでの参考にさせていただきます。

上記回答につきましては、予告無く訂正させていただくことを予めご承知頂けますようお願い申し上げます。